

上

第五十七回「大会」のお知らせ

大会日程	
日 時	平成三十年五月二十六日（土） 十二時三十分～十五時三十分
会 場	日本女子大学人間社会学部 A棟二階第一会議室（西生田キャンパス）

— 第72号 —
〒214-8565
川崎市多摩区西生田1-1-1
日本女子大学教育学科の会
電話 044(952)6870(代)
FAX 044(952)6889
ホームページ
<http://jwu-gakuen.net/>
メールアドレス
info@jwu-gakuen.net

「教育学科の会第五十七回大会」のお誘い

会長 吉崎 静夫

今年多くの卒業生と在校生の皆様のご参加を願って、大会のご案内をいたします。

大会は、第一部「総会」と第二部「学縁のつどい」で構成されています。

総会は、前年度の成果と課題を共有し、本年度の活動方針を決定する重要な機会です。

学縁のつどいは、今回が二十二回目となります。学生委員を中心に企画・運営をおこなっており、毎年、参加者から好評を博しています。昨年度は、小学校と企業、それぞれの職場で活躍されている先輩方に講演をしていただきました。講演では、教員採用試験や就職活動に向けてのアドバイス、進路選択の決め手、学生時代の過ごし方、仕事の様子などのお話をうかがいました。その後、講演者を中心としたグループごとに意見交換・質疑応答をもちました。参加した在校生はもちろんのこと、卒業生にとっても有意義なひと時だったようです。

近年、教育学科の会の活動が盛んになってきました。本当に喜ばしいことです。会のウェブページ (<http://jwu-gakuen.net/>) も積極的に更新されています。皆様のご参加をお待ちしています。

提言

就活、婚活、終活など、近年、「〇活」という言葉をよく耳にすます。社会学者の宮台真司によれば、この背景には、地域社会の崩壊や企業・学校・親族といった中間集団の弱体化があるという。どういうことか。

かつては、自分で考えなくても、教員が就職先を斡旋し、親や親戚が結婚相手を探してくれ、死後の後始末も周囲に託すことができた。それは時に、個人の価値観や権利が侵害されることでもあつたかもしれないが、人々が自分のライフコース選択に関して全責任を負う必要はなかつたとも言える。ところが現代では、自分の好みに合わせて選び取る自由を得た代わりに、全てを自己責任でマネジメントしなければならなくなつた。

インターネットの発達は、このように自己決定を強いられた個人に大いなる力を与えた。今やパソコンやスマホを用いれば、様々な情報に容易にアクセスが可能である。おかげで、個人による選択の範囲やスキルは飛躍的に増大・向上した。そこで、「できるだけ損をしないように」「周間に取り残されないように」「最適な選択」をしようと、「〇活」が流行るというわけである。

ところが、情報が豊富にあり、しかも流動的な社会であるため、どんなに「最適な選択」をしたつもりでも、「間違ったのではないか」「不適切だったのではないか」との不安がつきまとう。そのため、さらに「〇活」に走ることになるが、「最適」の追求に終わりではなく、いつまでたっても不安は拭えない…。実は、子どもを「いい学校、いい会社」へと闇雲に追い立てる親も、同様な罵にはまつている。どちらの根底にも「周囲を出し抜く強い個人」という幻想がある。

一方、自分だけでなく「皆のため（利他性・貢献性）」に、仲間とともにに行う行為であれば、人々の助けを得ることができ、成功も皆の喜びとなる。個々人が孤独に成功を限なく追求しつづける姿はどこか虚しい。かつてのよう弊害を避ける工夫は必要だが、皆が仲間のために行動できる社会こそが、目指すべき理想なのではないだろうか。

教育学科准教授 荒牧草平

「〇活」でなく

※卒業生の方は、西生田キャンパス入構・スクールバス乗車に身分確認用として、「革」送付時の封筒をご持参ください。

申し込み
第二部
第二十二回「学縁のつどい」
(十三時～十五時三十分)
準備の都合上、なるべく同封のはがきで
五月十一日（金）までにお申し込みください。
(申し込みなしでの当日参加も歓迎
です。)

ホームカミングデイ・講演会

「ドキドキ つくづまなぼ！」

日女祭一日目の10月22日(日)、NHK子ども向け番組「つくつてあそぼ」のワクワクさんでおなじみの久保田雅人氏による講演会が西生田キャンパスで行われました。当日は台風が近づき雨脚も強い中、人間社会学部の在学生や教育学科の卒業生、子ども連れのご家族など的一般の方など、たくさんの方々が参加して下さいました。

私たちが声を合わせてお名前を叫ぶと、「はい！」と大きな声で返事をする笑顔いっぱいの久保田雅人氏が部屋に入ってきた。久保田氏は部屋に入るとすぐにトレードマークの赤い帽子と黒縁の丸眼鏡を取り出し、被つてみせた。参加者から、歓声が上がり始めた。期待に満ちた笑顔の中、講演会がスタートした。

講演会では、「つくつてあそぼ」の制作について、登場人物についてなど沢山のこと話を下さった。お話を後、講演会の一大イベントである工作が行われた。

サム先生から工作を教わり、工作リハーサルを行う。一日目にはゴロリの声（中村秀利氏）を収録し、セリフを固める。三日目に本番。一日目に工作を教わるために、工作と台本を組を作るためにこんなにも時間がかかつてたことに驚きを隠せなかつた。次に久保田氏は、「つくってあそぼ」の登場人物について話して下さつた。まずゴロリとは…？なんとコグマという設定。ゴロリは五歳児で、五歳の「ゴ」を取つたのがゴロリの由来であるそうだ。ゴロリの家族は父・母・ゴロリ・妹と犬のグレートで、お父さんは大工さん。よく番組に出てくるゴロネちゃんは父の弟の子どもで、ゴロリくんと同じ五歳児。この中で登場人物としてテレビに出てくるのはゴロリとゴロネちゃんの二人だけで、他は設定に過ぎないようだ。ちなみに「つくってあそぼ」のセットにある家は、ゴロリのお父さんが作つたという設定であるそうである。次にワクワクさんについて。ワクワクさんは、世界をまたいで活躍する二十代後半のデザイナー。二十三年間この設定が変わらなかつたようだ。

そしていよいよ、私たちが待ちに待つていた、工作の時間。子どもの時にテレビに張り付いて見ていた久保田氏が実際に目の前で教えてくださいると思うとワクワクが止まらなかつた。一つの画用紙とハサミを手に取り、久保田氏の説明と「ヂヨキヂヨキ」という擬音語と共に、次々に色々な作品が出来上がつた。出来上ると、実際に立ち上がって、作つた作品で遊ぶ人たちもいた。参加者には大人も多かつたが、完成品で上手く遊ぶことが出来るとやはり嬉しくて、子どもに戻つたような気持ちがした人が多かつたのではないだろうか。

久保田氏は、工作が終わると、子ども達と工作をし、関わる上で大切なことをいくつか話して下さった。まず一つ目は、ものを使い切るということ。ゴミが出やすい工作においても、ものを使い切ること（＝ゴミを極力出さないようにすること）で、工作に限らず様々な場で、ものを大切に扱う心をもつた人の育成に繋がる。二つ目は、先生が作って見せること。先生が楽しそうに作っているのを見ると、子どもたちにも楽しさが伝わり、子どもたち自身も楽しんで作ることができ。三つ目は、実際に工作する時のことについて。作るときは、細かい説明をせず、”だいたい親指くらいの太さ”で、”人差し指一本分くらいの長さ”に切る、など、子どもたちが分かりやすいように、想像しやすいように、教えること。定規を使用しなくて

最後に久保田氏は「私たち学生に
谷川俊太郎氏の「うその中にうそを探すな
ほんとの中にうそを探せ ほんとの中にほんとを探すな
うその中にほんとを探せ」という詩を紹介して
下さった。これから教師として、社会人として、社会
人に直面する。そのためにも「ほんと」を見抜く力をつけて欲しい、日々
色々なことを体験して、自分の知識・経験を増やしてほしい、と言つてください
さつた。

小さい頃にずっと見ていた、あの憧れの人が日本女子大学に来てくださいり、そして一緒に工作をし、「頑張って教師になる」という夢を実現してくださったね」と言つて、ださつた時間は、短い時間であつたがとても贅沢で夢のようでも、とても印象に残る講演会だつた。

も、ぴったりに切らなくとも、『これくらい！』で子どもに通じれば、作ることが出来る。四つ目は、工作で遊ぶ時のことについて。遊ぶ時は真剣に。子どもは私たちがわざと負けているか／勝っているか見抜いてしまう。お互いが真剣に戦うからこそ、悔しいし、楽しい！と思うのである。

懇話会

元千葉県知事 「堂本暁子先生」を迎えて 「私の歩いた道、85年の人生」



2017年12月2日(土) 目白キヤンパスに、ジャーナリスト、政治家、千葉県知事であり、女性の社会的地位の向上に貢献され、世界に認められた女性リーダーの堂本暁子先生をお迎えしてお話しを伺いました。

2017年12月2日(土) 目白キヤンパスに、ジャーナリスト、政治家、千葉県知事であり、女性の社会的地位の向上に貢献され、世界に認められた女性リーダーの堂本暁子先生をお迎えしてお話しを伺いました。

冒頭、先生がご用意された資料であつたのはサンフランシスコに近い街・バレーで迎えた85歳のお誕生日のお写真でした。日本からは20名、全体で85人の親戚が集まつたそうです。誕生祝のケーキには堂本家の家紋が(先生も見た事がないとう!)あしらわれていました。

「日本に住んでいた私たちは昔の日本を大切にする気持ちが薄れてしまつていて、ずっとアメリカで暮らしている家族たちは古い日本の記憶や伝統をとても大切にしていることが驚きでした」日本語が話せないアメリカの親戚にとって自らのルーツである家紋や日本の古い家財道具が心の拠所なのではないか、と先生は仰います。現存する先生のご生家はとても素敵です。今や黒人街になつていて、先生が幼いころは白人の街、彼らとともにアメリカンライフを体現した素晴らしい場所でした。貴重なお写真からは当時の日本にはないお洒落な生活を垣間見ることができました。

そんな長閑な暮らしにも戦争の影が忍び寄ります「アメリカでは全くあり、とてもリアル。まるでドラマのようでした。アメリカ、カリフォルニアで生まれ戦争直前に帰国された先生は曰く、「歐米と日本の文化をあわせもつた宿命」「国際的な感覚と柔軟性」そして「矛盾と混乱」に象徴されるものであつたとの事。

「なんといつても忘れることがで

きないのは小学校5年生の時に青山通りで見送った学徒出陣、担任の教師が困るほど泣きました」また、学校の近くに憲兵隊があり、日本に帰国してまだ日が浅い先生は敵国語である英語がネイティブであつたため、同級生にオノヨーコさんもいらした国際的な学校でした。戦火が迫る都心にいては危ないということで、学童疎開した挾島でも空襲に遭うなどリアルな戦争体験もお伝え頂くことができました。

3月10日の空襲ですべてが焼かれてしまつた先生のご一家は軽井沢の別荘に疎開されます。体ひとつで逃げてきた家族には転校のために必要な書類などある筈もなく、先生は家庭教師について自然豊かな田舎暮らしを子供ながらに謳歌します。

「学校にいけないのも案外良いものです。本当にたくさんの本を読みましたよ」「お茶もお菓子もないのに、裏千家のお茶のお稽古をしました」小学生にしてモーパッサンの『女の一生』を読破したりと空腹以外は楽しかつたと語る先生。

女性には就職はおろか仕事がない時代

男女共同参画社会基本法の成立に貢献した先生ですが、先生が東京女子大学を卒業したその頃には女性の社会参加に道は開かれていませんでした。今も真の男女の平等は、就職、労働条件などでは実現しているとされています。大学の推薦を受け「TBS婦人ニュース放送開始のためのスタッフ探し」の候補に入つたことがジャーナリスト堂本暁子の誕生となるのでした。とはいえ、先生の気

ますのも大学で教鞭をとる予定の学

者が高校の教壇に立つことがあつたため。その偶然の場面に遭遇した堂本先生は、日本語を大野晋先生から英語はケンブリッジ大学を卒業したシスターから。眞の学びをうける好機を得ました。後世名を残す先生方から閃きを学ぶ機会があつたのです。しかし、アメリカとの貿易をお仕事にしていました。とはいって、ヒマラヤの未踏峰にあたお父様が渡米し、亡くなつたこともあり就職せざるを得ない環境でした。とはいえ、ヒマラヤの未踏峰にあたがれ、登山に明け暮れた学生時代を送つた先生は、当時から男子学生と一緒に活動し今もそのご縁が続いているという得難い青春時代です。

時、テレビジョン時代に突入してきました。大学の推薦を受け「T

B S婦人ニュース放送開始のためのスタッフ探し」の候補に入つたこと

がジャーナリスト堂本暁子の誕生となるのでした。とはいえ、先生の気

持ちの中では文化人類学者になりたい、との夢は捨てられずTBS局員になりつつも都立大学の大学院受験の用意をし、聴講生になつて単位を取りつていきました。

「当時の私は本当に受け身だったのね。文化人類学者以外に石にかじりついてもやりとげたいという目的はもつていませんでした。」意外な発言に驚きますが、女性に冷たい社会背景を考えれば、女性が希望するような職を得て積極性を發揮するのではなくでしょうか?

ガガーリンが決めた運命

カメラテストで選ばれた堂本暁子先生は就職のチャンスを逃す気にならず、仕事に就いたのですが、映像の仕事には想像を超えた面白さがありました。「絵作りの楽しさ、映像つて楽しいと思えてきたのね」

万が一文化人類学を学ぶ機会を得ることができれば、1年で辞めようという気持ちでスタートしたキャラ。文化人類学者への憧れも捨てられない迷えるお年頃だったその時1961年。

「ガガーリンが宇宙に行つたの何やつているんだ?」都立大学で試験をうけようと向かいながらも気になつて局に連絡すると大事件が起きていたのです。世紀の報道の現場で働くことを決めました。

1964年の東京オリンピックでは山岳部出身ゆえの腕力を見込

まれて、女性ながらに重たいカメラを抱えての担当記者、カメラマンに抜擢されたのですから、3年前の決断は間違つていなかつたと言えるでしょう。

「とはいって、40歳までは地味な感

じで淡々と仕事をしていたんですね」そうおっしゃる先生が、「社会派ジャーナリスト」堂本暁子になつたのは1980年の『テレビ』(TBSの看板番組)で展開したベビーホテル・キャンペーン。「ベビーホテルが流行っています。実態をリポートしてください。」といふ一枚のハガキがきっかけでした。40歳の転機は決して早いものではありませんが正に機が熟した時でした。

高度経済成長が続いた時代に、高度経済成長が続き「効率性」「経済性」が最優先されていました。そんな中で、御多分に洩れず成長のしわ寄せが女性に来ていました。京都のベビーホテルを取材に訪れた。京都のベビーホテルを取材に訪れ驚愕します。トイレすらない劣悪な環境に乳飲み子が大勢閉じ込められるように預けられていたのです。

保育の資格を持たない経営者による不衛生な環境で、夜の仕事をせざるを得ない母子家庭の子供達がすし詰めにされ母を待つている様子は、すべての子どもが健やかに生まれ育つことを保障している児童福祉法に反する、見逃すことはできない、社会問題として提起しなければならない、と堂本先生の頭を殴るようなショックを与えたのでした。

早すぎる経済成長に人間が付いていけない実態がここベビーホテルに凝縮されました。家庭を顧みない夫と離婚した女性が得られる仕事といえば夜の仕事が殆ど。深夜に子供を預けて働くしか選択できません。高度経済成長社会の暗部では、母子家庭が貧困に直面しています。女性の社会進出と就業形態の多様化に保育制度は対応できていな

ますが、日本では平常時にもその状況が潜在していました。先生の中にあつた弱者に対する視点が顕在化した瞬間でした。

未だに解決されない待機児童問題の萌芽

1980年といえれば日本の自動車生産台数が世界一になつた年でも

あり、高度経済成長が続いた時代に、高度経済成長が続き「効率性」「経済性」が最優先されていました。そんな中で、御多分に洩れず成長のしわ寄せが女性に来ていました。京都のベビーホテルを取材に訪れた。京都のベビーホテルを取材に訪れ驚愕します。トイレすらない劣悪な環境に乳飲み子が大勢閉じ込められるように預けられていたのです。

保育の資格を持たない経営者による不衛生な環境で、夜の仕事をせざるを得ない母子家庭の子供達がすし詰めにされ母を待つている様子は、すべての子どもが健やかに生まれ育つことを保障している児童福祉法に反する、見逃すことはできない、社会問題として提起しなければならない、と堂本先生の頭を殴るようなショックを与えたのでした。

社会運動家、市川房枝議員に直訴する

「ベビーホテル問題は政治の責任だから私にも現場を見せて欲しい」としたうえで「政治を動かすにはメディアの力もあり当時参院選で全国トップ当選を果たした市川房枝議員から助言を得ることに成功しました。

データが必要です。ベビーホテルの実態を知らしめる調査をしなさい」ホテルは90.2%が仕事のために利用」という実態をつかみます。翌年の1981年には児童福祉法が改正されるに至ります。

因みに制定後36年経過した現在においていよいよ実態がここベビーホテルに凝縮されました。家庭を顧みない夫と離婚した女性が得られる仕事といえば夜の仕事が殆ど。深夜に子供を預けて働くしか選択できません。高度経済成長社会の暗部では、母子家庭が貧困に直面しています。女性の社会進出と就業形態の多様化に保育制度は対応できていな

かつたのです。

映像という武器を用いて社会に訴え、ジャーナリズムに燃えた先生は厚生省(当時)に訴えましたが行政は動きませんでした。役所は余暇のため子供を預ける施設「ベビーホテル」と誤認しており深刻な実態に目を向けようとはしなかつたのです。

ところ敵なしのジャーナリストとして社会問題解決を行う仕事人生まつしぐらでした。

土井たか子さんとワインを飲む!

女性の立場をしつかり理解した上で社会を動かす実績をもつ堂本暁子女史を世間が放つておく筈はありますせんでしたが、女性として初の党首になつた土井たか子議員から「あなた議員になつてくれない?」と直接スカウトを受ける事になろうとは予想もしていなかつたでしよう。「政治の世界なんて魑魅魍魎としているで絶対に嫌だわ」と思いこんでいた先生は、土井たか子議員から直電を受け、ワインを飲み、カラオケで土井さんが歌う「マイウェー」を聞いても、政治家になるという決断はできませんでした。

今にして思えばやはり土井たか子さんは偉大な政治家だつたと先生は仰います。女性議員を増やしたい一心のおたかさんからの熱烈アプローチは冷めることなく、「いつまでも待つわよ」という言葉と三顧の礼を頂いたことでジャーナリストから政治家へと方向転換することになります。土井さんが社会党の委員長として戦つた1989年の参議院選挙では、社会党のそれまでの獲得数600万票が2000万票に急増します。その後土井さんは、日本における女性初の衆議院議長にまで昇りました。堂本先生のスカウトに成功す

るのみならず、政治家における女性比率を倍増し、法律制定の場に女性の視点が入るようになつたのです。

堂本暁子として生きるのを辞めた!

土井さんに口説かれる形で参議院選舉にて初当選した1989年、社会党員にはならないという選択をし、社会党・護憲共同の会派に属して政治活動をはじめた堂本先生。当選直後、議員会館の部屋に最初にいらしたお客様、イギリスからやつてきた元議員の方が先生に転機を下さいました。「私はふたつの人生を生きました。議員になるまでは自分のための人生でしたが、天命として議員になったからにはイギリス国民のための人生を生きました」このスピーチに感動した新人議員だつた先生も「よし、私ももうこれからは堂本暁子として生きるのは辞めよう」と決意します。政治の世界を疎んじていた自分が恥しくなつた先生も自分の天命を与えた事への使命感に燃えました。改めて政治の世界を見つめると実はとても面白いと思えるのです。「ジャーナリストの時に問題視していた保育の問題を解決しています。D.V.防衛法」「児童買春禁止法」は超党派の女性国会議員によつてつくられた法律です。にもかかわらず、今現在の日本の政治における女性の参画は貧困で、世界男女格差指数でみると114位。昨年の111位から更に低下しているのが現実です。

GLLOBE(地球環境国際議員連盟)へ参画する機会に恵まれ、生物多様性を担当する事になりますが、もが「私の仕事だ」と。

GLOBE(地球環境国際議員連盟)へ参画する機会に恵まれ、生物多様性を担当する事になりますが、

因みに当時上院議員だつたアル・ゴア氏は同じGLOBEで地球温暖化問題を担当していました。生物多様性問題を考える時には心は子供時代の軽井沢を想起したそうです。国際会議ではアメリカ人やヨーロッパ人の激しい議論についていけませんで

したが、政策についてとことん話し合う議員の姿に驚き、多くを学びました。先生の議員としてのロールモデルは国際会議で活躍する世界の議員たちでした。

1994年には国際人口開発会議のためカイロまで行き日本の代表として参加し、1995年には北京女性会議で女性の健康とエンパワーメントについて話し合いそれを持ち帰つて「北京宣言」「北京行動綱領」を具現化したのが「男女共同参画社会基本法」であり1999年に立法させることができました。これらの法律は今も女性の社会参加を後押しし地方自治体に至るまで男女共同参画社会にするための支えとなつています。当時の政界では女性も活躍していました。「D.V.防衛法」「児童買春禁止法」は超党派の女性国会議員によってつくられた法律です。にもかかわらず、今現在の日本の政治における女性の参画は貧困で、世界男女格差指数でみると114位。昨年の111位から更に低下しているのが現実です。

総括するとともにラッキーダった

に選挙で圧勝し千葉県知事に就任します。

大阪府、熊本県に続いて3人目の女性知事として、公約に情報公開の徹底と県民参加型県政運営を掲げました。行政主導から県民主導の政策づくりに挑戦。県内各地でタウンミーティングを開き、地方民主主義を目指しました。特に福祉分野では子どもたちも、高齢者も、障害者も差別なく参画し、お互いに持てる力を出し合い、協力し合い、誰もが地域で自分らしく暮らせる「健康福祉千葉方式」を標榜しました。

また、女性知事ならではの政策としては全国初の県立病院に女性専用外来を開設したところ、わずか2年で47都道府県に広まりました。ところで、戦後日本には317人の知事がいますが女性はたつた7人だけ。世界標準には程遠くジェンダー目標で見ると日本は後進国と言わざるを得ません。

先祖に招かれて千葉県知事に

2001年には既成政党の候補

【37回生 中込 知野】

学ぼうシリーズ 日々の授業改善と 社会科教育学



教育学科助教 渡邊 巧

平成二十九年に新学習指導要領が告示され、「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び」をキヤッチフレーズに、新しい時代の教育実践が求められています。こうした動向に対応していくためには、どうしたら良いでしょうか。

その一つの鍵は、日々の授業改善にあるのではないかと思います。授業改善のスタートは、教科観(各教科で育てたいと願う、子どもの姿)を明確にすることになります。つまり、「何のために、その教科を教えるのか」という問いに、自分なりの回答が出来るか否かです。

(一) 地域・社会の構成員として知つておくべき教養を教える。

(二) 社会事象を説明することができると見方・考え方(概念)を教える。

(三) 子どもの興味や問題を追究していくプロセスを大切にする。

(四) 地域・社会をより良くするために提案・行動をおこなっていく。

【参考文献】

全国社会科教育学会編『社会科教育実践ハンドブック』明治図書、二〇一一年

らせるのか】によつて、教材研究や授業構成の仕方が変わってきます。社会科教育学の世界では、(一)は理解型、(二)は説明型、(三)は問題解決型、(四)は意思決定・社会参加型と整理され、深められてきました。

例えば、(一)理解型は「玉川兄弟はどんな苦労をして玉川上水を作ったのか。」といった学習課題が設定され、調べ学習や新聞作り、劇などの活動がおこなわれます。地域の人や物事について、当事者の気持ちになつて考えていきます。

一方、(二)説明型の場合、地域の人や物事は事例となり、その探究を通して、他の地域も説明可能な見方・考え方の獲得が目指されます。(三)問題解決型は、子どもが興味を持つてることを教師がすくい上げ、それを学習課題としていくのです。子どもの向学心を育てる学習ともいえます。(四)意思決定・社会参加型は、地域・社会の論争的な問題(例えば、ゴミ問題など)について、「どうしたらしいか。」と子どもたちに問い合わせる議論や発表会をするという活動がおこなわれます。実社会との関わりを重視した学習となつてきます。

こうした類型は、あくまで一つの視点です。しかし、日々の授業が、学術的にどのように定義され、研究されているのか、日々の授業以外にどのような選択肢があるのかを知ることは、授業改善の糸口となるのではないでしようか。

江戸東京博物館を見学して

2017年9月19日、教育学科の会理事10名が参加し、東京・両国にある江戸東京博物館を見学しました。当館常設展のボランティアガイド加藤良子さん(23回生)にお願いして江戸ゾーンを案内していただきました。

実物大に再現された木製の日本橋を渡るとそこはもう江戸の世界。精巧に作られた日本橋の街並みや大名屋敷のジオラマ、実物大に復元された長屋や芝居小屋、江戸中に張り巡らされた上下水道の高い技術などを加藤さんの丁寧で心のこもった説明を聞きながら巡りました。

2時間があつという間に過ぎ、江戸の歴史や文化、また当時の人々の暮らしぶりや江戸の街の変遷など多くを楽しく学ぶことができました。加藤良子さんいろいろお世話をになり有難うございました。

【27回生 杉山 京子】



会員の広場

ピアサポーターのボランティアとして



25回生 浦野 敬子

現在、東京都小児医療センターで、ピアサポーターとして、月3ヶ月ボランティア活動をしていました。これはNPO法人難病のこども支援全国ネットワークが、患者やその家族を支えるために行っている活動の一つです。

小児の難病や慢性疾患は700種類を超え、その患者数は全国で25万人以上ともいわれています。しかも先天的な疾患も多く、重度といわれる状態になる子どもたちもかなりの数に上っていますが、これらの子どもたちやその親たちに特化したサポート体制は殆ど構築されていないため、小児難病の子どもたちやその親たちは社会から孤立しがちにならざるを得ないのです。そこで、難病や障害のある子どもたちを育てた経験のある親たちが、ピア「なかまたち」という感覚で、支援を必要としている経験の浅い親たちに寄り添い、共感と分かち合いの気持ちを持つて、サポートしていくのが、ピアサポーターの役割です。

私自身22年前次男が5歳で難病にかかり清瀬小児病院に入院しました。その時、医師から生存確率が低いこと、症状について説明を受けている時、医師の声は聞こえてはいるものの、心が動搖し頭が真っ白でした。そして、どうしてここまで病気が悪化する前に子どもの症状に気付いてやれなかつたのだろうと、自分を責める気持ちで一杯でした。小児病院の外来は、リスやウサギなど子どもが好きそうな絵が描いてあつたりしますが、入院病棟は、真っ白な壁、常に同じ温度、湿度と変化のないところです。大人でしたら、自分の手帳等で今日は何月何日とわかりますが、カレンダーもない病棟では、学齢前の子どもには、今日がいつなのかわからぬ世界で病気と闘つていかなければなりません。カレンダーがなぜないのかをナースに聞いたところ、ほっこりがつくからダメだそうです。

しかし、どんなに病気が重くても子どもたちは毎日成長し、発達していくのです。そのことは、次男が入院している時に痛感しました。けれども、命を助けることが第一である医師やナース、周りのお母さんたちに「子どもの発達も考えてほしい」と言つても小さな声でした。例えば、次男が入院している時、テレビは夕食後しか見られませんでした。医師にせめて「お母さんと一緒に見せてほしい、友達百人できるかな?」の歌は

小学生に入学する前に覚えるから価値があります」とかけあつて、夕食前30分だけテレビが見られるようになりました。今は入院しても保育士が入る大きな小児病院が少しずつ増加してきました。(病弱児特別支援学校で幼稚部があるのは、全国で1校のみ) 次男は病弱児養護学校の清瀬分教室に入学しましたが、退院後地元の小学校に転校する時、前例がないという事で校長からいろいろ条件をつけられて大変でした。

病気や障害を持つ子どもがいるということは、そのきょううだいの心のケアも考えていかなければならぬという課題も抱えています。ピアサポーターとしては、主に傾聴ということが大切なことです。しかし、家族は患児を支えなくてはと、精一杯です。そして、若い親たちは、ネット情報に振り回されたりません。カレンダーがなぜないのかをナースに聞いたところ、ほっこりがつくからダメだそうです。

しかし、どんなに病気が重くても子どもたちは毎日成長し、発達していく間に情報を整理し、自分なりの道筋を見つけていけるようにお手伝いするということは、大事なことです。ピア室にみえるお母さん達は、話しているうちに、自分で答えを探して、それなりに納得して帰られます。

私たちの前では、子どもの前では言えない弱音を吐いてもいいのです。自分のご両親の前では言えないこと、医師やナースの悪口を言つてもいいのです。どんなに泣いても良いのです。部屋に入ってきた

会員部よりお願い



事務手続き効率化のため、返信

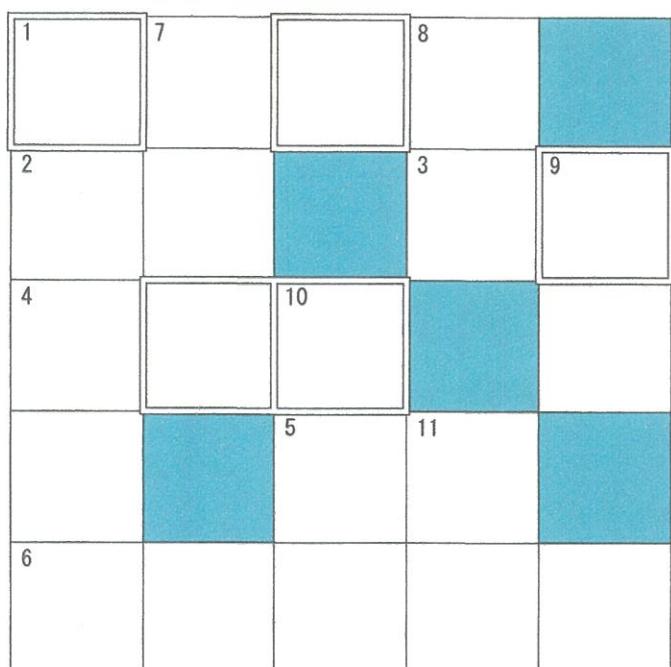
葉書への「会員コード」の記入をお願いします。会員コードは、郵送時の封筒宛名の最下段に印字されている、アルファベットと数字6桁のものです。

また、住所などの変更があつた場合、新しいものを記入して下さい。ただし変更事項に○をお願いします。

ときよりも、帰るとき少しでも気持ちの整理がつき、前向きに生きていこうと思つて下さるならば……と思つています。そして、ピアサポーターを行つてみると、現在の医学生のことも学んでいかなければなりません。遺伝子改変がどこまで許されるのか?等、常に新しいことを学ぶ機会を与えていただいています。

クロスワードパズル

二重線枠の文字を組み合わせてできるひらがな5文字の言葉は?



答え

◆解答を同封のハガキに書いて送ってください
正解者 10名に図書カードを贈呈します。
(正解者多数の場合は抽選)

◆前回の正解は「新記録」でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。



<ヨコのカギ>

- アブラナ
- お祝いの時の尾頭付き
- 最寄りの○○は「読売ランド前」
- ねこのライバル
- お花の女王様
- 絶叫マシーンやメリーゴーラウンド

<タテのカギ>

- 菜の花が咲く頃の長雨
- 雑音や画面のちらつき
- 田んぼに植える稻
- オリンピックの一等賞、○○メダル
- 見た目、○○○の良い服
- お花の王様

<ヒント>

桜の次に白や紅色の花を咲かせます。

【当選者】(敬称略・数字は回生)

馬場 史子 (5) 高見 豊代 (9) 杉村 和子 (17) 篠崎 朗子 (17)
小野 雅子 (25) 岩野 由美子 グリーゲルシュタイナー (25)
湯山 尚美 (31) 三森 麻希 (65) 堆 珠美 (67) 中島 舞香 (70)

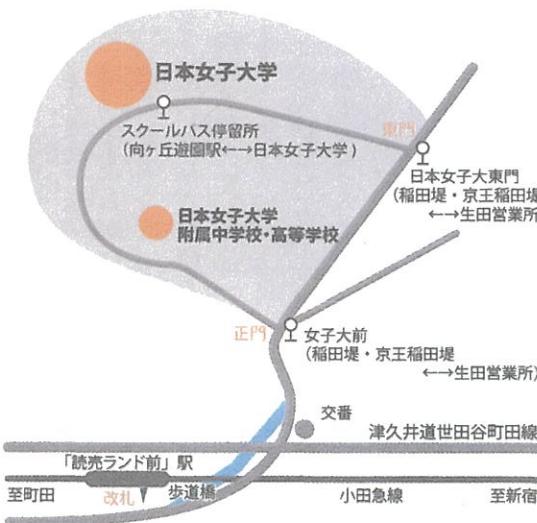
クロスワード応募用のハガキは中央研究室
前掲示板にもあります。学生会員からの
応募もお待ちしております。

◆スクールバスダイヤ

2017年度の土曜日用です。
2018年度は変わることあります。
ホームページでご確認ください。

時	向ヶ丘遊園駅北口発			日本女子大学発		
8	18	30	43			
9	07	20	50	25		
10	10	22	42	05	20	50
11	15	40		20	40	
12	00	15	45	07	30	40
13	00	15	40	20	40	
14	00	30		10	40	
15				15	30	

*卒業生の方は西生田キャンパス入構・スクールバス乗車に際して、身分確認用として、「卒業証」送付時の封筒をご持参ください。



交通のご案内

- ◆小田急線 読売ランド前駅下車
徒歩 15 分
 - ・新宿から急行 25 分
(向ヶ丘遊園乗り換え)
 - ・新宿から準急 30 分
- ◆小田急線 向ヶ丘遊園駅下車
北口 3番停留所よりスクールバス
(所要時間約 15 分・無料)
- 京王線
『京王稻田堤』駅下車／
小田急バス(生田営業所行) 約 12 分／
日本女子大東門または女子大前下車
- JR 南武線
『稻田堤』駅下車／
小田急バス(生田営業所行) 約 12 分／
日本女子大東門または女子大前下車



庶務部からのお知らせ

クラス会開催時に、宛名ラベルの必要な回生委員の方は、
庶務部 杉山 京子 (0463-96-2272) までご連絡下さい。

年号表記の記載につきましては、原稿により、和暦と西暦があり、併用しています。

編集委員

- | | |
|----------------------|---------------|
| 高橋 藤枝 (23回生) | 内山 瞳美 (34回生) |
| 斎藤 素子 (34回生) | 佐藤 恭子 (34回生) |
| 妙圓薬 やよい (34回生) | 星野 ひろみ (37回生) |
| 石井 美奈子 (38回生・会報編集部長) | |